

村の活性化とバイオマスエネルギー 講演説明会を開催しました



左から肥田氏・宝田教授・阿久澤村長・田邊教授

2月24日、南部コミュニティセンターにて、「村の活性化とバイオマスエネルギー講演説明会」を開催したところ、村民はもとより県内外企業の方など約150名の方々に参加をいただきました。開会挨拶にて、阿久澤村長から「榛東村では今年度から、農林水産省補助事業として、再生可能エネルギーに活用可能な資源が豊富に存在している本村において、その資源を活用し、そのメリットを地域に還元することで村の活性化につなげることができると、調査検討等を村民の皆様と行う、再生可能エネルギー事業化推進事業を行う」との説明をいたしました。



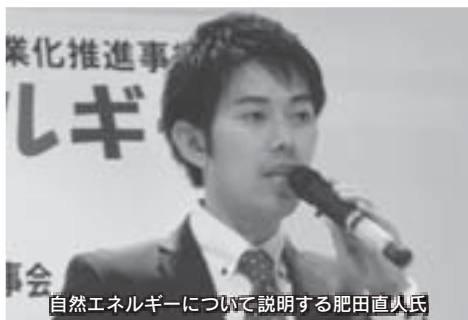
村民の方からも活発な質疑がありました

第一部では、バイオマスエネルギーの研究を行っている群馬大学理工学部研究 環境創生部門の宝田恭之教授に、「技術だけでなく社会的変革を行わなければバイオマスは導入できない」という、ライフスタイルを変える「楽しい未来型社会」の提案をいただきました。



検証実験について説明する室田教授

第三部では、幹事などが行った、バイオマス発電プラントメーカー調査の概要報告と、検討委員会によるご近所説明会の概要とアンケート集計などの報告があり、広域へのごみ処理負担金の増加・畜農家の高齢化と後継者不



自然エネルギーについて説明する肥田直人氏

第二部では、榛東村のメガソーラー建設のプロジェクトマネージャーで、自然エネルギーの普及推進に取り組まれている、ソフトバンク株式会 社 社長室 自然エネルギー推進グループ課長代理の肥田直人氏から、電気料金表や手回し発電付懐中電灯を使い身近なエネルギーの解説や、ソフトバンク社が行ってきた南北小学校の環境教育、風力燃料電池などの新たな自然エネルギーへの取組経緯・成果のご紹介をいただきました。



コンパクトでほとんど臭いもなく耐久性に優れた最新のガス発電システム

足・経年による農集排処理場の大小メンテナンス費用などの対策をもつて本村の活性化にバイオマスガス発電の事業化が有益であるかどうかの議論がなされ、バイオマスへの理解を深めていただきました。

◎榛東村内バイオマス発生量(家畜糞尿)
(平成24年12月17日現在、家畜保健衛生課調べ)

	乳牛	肉牛	豚
飼育頭数[頭]	254	1,817	3,130
ふん [ト]	4,219	11,806	2,400
尿 [ト]	1,243	4,311	4,342
小計	5,462	16,117	6,742
	採卵鶏	ブロイラー	合計
飼育頭数[頭]	13,990	17,800	36,991
ふん [ト]	695	845	18,425
尿 [ト]	-	-	9,896
小計	695	845	28,321

また、当日行ったアンケートでは、「ゴミの大量化、負担金のことを考えると、それを資源にする、バイオマス活用は利点が多い」「ごみの収集活用など、どう行うか村内での方向性を出せるよう、輪を持って進められたい」「意見欄抜粋など、バイオマスやごみ処理などについて、熱心な意見をいただきました。



おが屑からメタンガスを発電するバイオガスプラントシステム

ご近あなたのごみが
エネルギーに

ご近所説明会

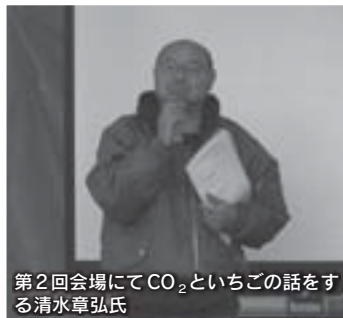
榛東村ではごみ(生ごみ、家畜糞尿、農業残渣、間伐材など)をメタン菌によってメタンガスを発生させて、ゴミ処理と売電が同時に行えるバイオマスガス発電に係る調査検討を行うため、バイオマス発電やそれに関連する最新技術に知見のある専門員、幹事、検討委員会の選定・委嘱などを行い、村内の発電事業者の育成、合意形成、調査研究などの一環として、村内数ヶ所



第1回会場にて、バイオマスの説明を熱心に聞く参加者



第4回会場にて、説明する講師鈴木由仁氏



第2回会場にてCO₂といちごの話をする清水章弘氏



第2回会場にて山本新一氏による八州高原ブランド特産品の紹介

で専門員や、村内の農業従事者・事業者の方を講師としてお招きし、下記の榛東村民広域組合負担金のグラフのとおり、平成22年度から1千万円ずつ増加している村のごみ処理の状況を鑑みたバイオマスガス発電を行う必要性、バイオマス発電の仕組の説明や、農林業から発生するバイオマス原料の現状報告と幹事などで行った上越・帯広バイオマス発電プラントメーカー調査研究の報告を行い、参加者の方々と意見交換を行う「あなたのごみがエネルギーに」バイオマス発電ご近所説明会を開催いたしました。

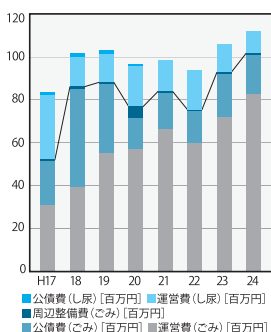


第2回会場の様子

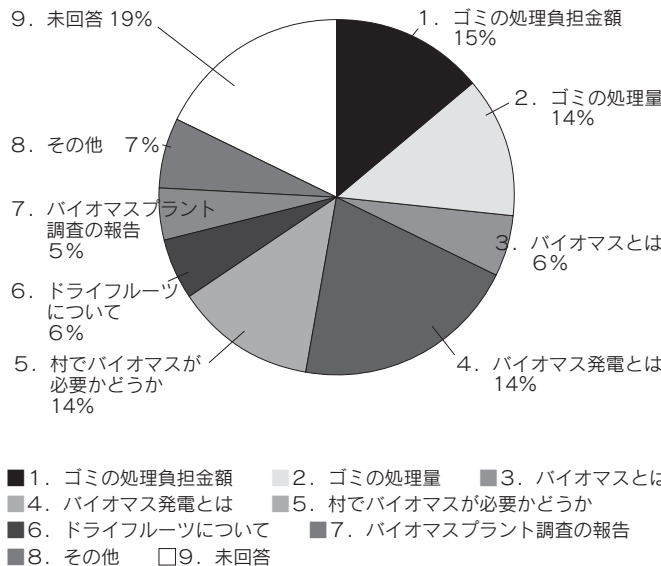
全5回を開催し、合計で約100名の村内の方々に参加していただき、村内のごみだけでバイオマス原料は足りるのか、原料の収集、調達方法等、さまざまな質問をいただき、専門員による回答、検討を行いました。また、アンケートでは「売電だけでなく、社会福祉センターの湯沸し等村に接続するものを考えていきたい」「資金などをどのように調達するのか、具体的にどのくらい進んでいるのかも知りたい」「バイオの話良くわかりました。是非実現したら良いと思います」「意見欄抜粋」等、貴重な意見や感想をいただきました。



農業集落排水の処理場



説明会で一番気になったもの



○参加者アンケート集計結果



第3回会場での羽鳥静男氏の説明の様子

榛東村 家畜排泄物の量*

	ふん	尿
乳牛	45.5kg/日	13.4kg/日
肉牛	17.8kg/日	6.5kg/日
豚	2.1kg/日	3.8kg/日
採卵鶏	0.136kg/日	-
ブロイラー	0.130kg/日	-

※「家畜ふん尿処理・利用の手引き」(財)畜産環境整備機構より

家畜糞尿排泄量
約81トン/日